

7	午 前
---	-----

(10 時 00 分～12 時 00 分)

問 題

◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午前の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、解答用紙に鉛筆又はシャープペンシルを使用して、左の欄に氏名を記入してください。次に、右の欄に受験票に記載されている受験番号を記入し、受験番号を塗りつぶしてください。

(例) 受験番号 1 A - 9 9 9 9 の場合

氏 名	心 理 花 子				受 験 番 号	1	A	-	9	9	9	9
						● ②	● B		① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ●	① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ●	① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ●	① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ●

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 次のうち海に面していない県について、正しいものを 1 つ選べ。

- ① 青森県
- ② 岐阜県
- ③ 兵庫県
- ④ 宮崎県

正解は②であるから解答用紙の②をマークすればよい。

1	①	②	③	④
↓				
1	①	●	③	④

【例 2】我が国における現在の元号として、正しいものを 1 つ選べ。

① 寛永

正解は⑤であるから解答用紙の⑤をマークすればよい。

② 元禄

③ 昭和

④ 大化

⑤ 令和

2	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

2	①	②	③	④	●
---	---	---	---	---	---

【例 3】次のうち県庁所在地となっている都市名について、正しいものを 2 つ選べ。

① 川崎市

正解は③と④であるから解答用紙の③と④をマークすればよい。

② 倉敷市

③ 仙台市

④ 高松市

⑤ 北九州市

3	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

3	①	②	●	●	⑤
---	---	---	---	---	---

- (3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入は HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●○●●●● (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。
5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。

問1 個人情報取扱事業者が、個人データの第三者提供を行うために、あらかじめ本人の同意を得ることを表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① オプトイン
- ② プライバシー
- ③ エナクトメント
- ④ リフレクション
- ⑤ アカウンタビリティ

問2 チーム医療において、治療効率のよい診療行為を時系列で並べた工程を作成し、それに基づいて診療や評価を行うことで、質の保証をしながら効率的に患者の診療を行う手法に該当するものを1つ選べ。

- ① クリニカルパス
- ② ブリーフィング
- ③ メディエーション
- ④ パーソンアプローチ
- ⑤ スタンダードプリコーション

問3 保護観察所に勤務し、精神障害者の保健及び福祉等に関する専門的知識に基づき、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った人が社会に戻ることを促進するため、生活環境の調査、生活環境の調整、精神保健観察等の業務を主に行う職種として、適切なものを1つ選べ。

- ① 保護司
- ② 法務教官
- ③ 保護観察官
- ④ 少年補導職員
- ⑤ 社会復帰調整官

問4 刺激と反応の間の媒介変数として習慣強度を設定し、行動を説明した人物に該当するものを1つ選べ。

- ① B. F. Skinner
- ② C. L. Hull
- ③ E. C. Tolman
- ④ E. R. Guthrie
- ⑤ J. B. Watson

問 5 異なる位置にある 2 つの刺激を、適切な短い時間間隔で交互に点滅させると、刺激が 2 つの位置を移動するように見えることを表す用語として、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① 運動視差
- ② 仮現運動
- ③ 自動運動
- ④ 誘導運動
- ⑤ 両眼視差

問 6 ある事柄に対する印象やイメージを複数の形容詞対を用いて段階的に評定させる方法として、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① SD 法
- ② 順位法
- ③ 一対比較法
- ④ 多肢選択法
- ⑤ 二項選択法

問7 独立変数がどのように操作されているかを参加者にも実験者にも知らせないことを表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 準実験
- ② 標準化
- ③ 二重盲検法
- ④ デイセプション
- ⑤ 無作為割り当て

問8 酸素との結合の有無によって、ヘモグロビンの磁化率が変化することに基づき、脳活動を評価する手法として、適切なものを1つ選べ。

- ① EEG
- ② fMRI
- ③ MEG
- ④ PET
- ⑤ SPECT

問9 過去に経験した物事の記憶によって、その後に経験する物事の記憶が困難になる現象として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 側抑制
- ② 逆向抑制
- ③ 構音抑制
- ④ 順向抑制
- ⑤ 条件抑制

問10 ある1つの刺激に対して生じている反応が、類似したその他の刺激においても同様に生じる現象を説明する概念として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 馴化
- ② 消去
- ③ 般化
- ④ 負の強化
- ⑤ 高次条件づけ

問11 「とても緊張して臨んだ就職面接会場の出口で、さほど仲の良くない知人を見つけた際に、自分から声をかけ、普段よりも冗舌に自己開示してしまった」という現象を説明できる感情理論として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① C. E. Izard の分化情動説
- ② R. L. Solomon と J. D. Corbit の相反過程説
- ③ R. Plutchik の感情立体構造モデル
- ④ S. Tomkins の顔面フィードバック仮説
- ⑤ W. James と C. Lange の末梢起源説

問12 視床の機能として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 運動の学習
- ② 呼吸の制御
- ③ 体温の調節
- ④ 感覚情報の中継
- ⑤ 意識レベルの制御

問13 コインをつかむことができない、ボタンをかけることができないなど、動作の稚拙さを特徴とする高次脳機能障害として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 観念失行
- ② 構成障害
- ③ 身体失認
- ④ 観念運動失行
- ⑤ 肢節運動失行

問14 ある地域や国などにおいて、歴史的に作り出され暗黙のうちに共有されている、自他の関係性についての通念を表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自己物語
- ② 集団規範
- ③ 暗黙の人格観
- ④ 文化的自己観
- ⑤ 内集団バイアス

問15 N. Eisenberg が提唱した向社会的道德判断の発達レベルのうち、最も高いものを1つ選べ。

- ① 強く内面化された価値に基づく判断
- ② 相手の要求に対する関心に基づく判断
- ③ 自分の快樂に結び付く考え方に基づく判断
- ④ 相手の立場に立った共感的な配慮に基づく判断
- ⑤ 善悪についての紋切り型の考え方に基づく判断

問16 高次脳機能の神経心理学的アセスメントにおいて、日常記憶や生活障害を定量的に測定する心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① KWCST
- ② RBMT
- ③ SLTA
- ④ VPTA
- ⑤ WMS-R

問17 高齢者の適応に関する理論として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① PM 理論
- ② 心の理論
- ③ CHC 理論
- ④ バランス理論
- ⑤ 補償を伴う選択的最適化理論

問18 限局性学習症／限局性学習障害のアセスメントに用いられるツールとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① CARS
- ② Conners 3
- ③ LDI-R
- ④ M-CHAT
- ⑤ Vineland-II

問19 全般不安症／全般性不安障害が疑われる成人に用いられる心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① BDI-II
- ② GAD-7
- ③ PDS
- ④ PHQ-9
- ⑤ TEG

問20 内観療法における集中内観について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 日中は軽作業に取り組む。
- ② 日常生活の中で集中して取り組む。
- ③ 日々、他のクライアントたちとの対話を通して、記憶をより鮮明にする。
- ④ 過去から現在までの対人関係を、一定期間に区切りながら、思い出していく。
- ⑤ 自分自身が「してもらったこと」、「して返したこと」及び「して返したいこと」という3つのテーマが設定されている。

問21 C. R. Rogers が提唱したセラピーによるパーソナリティ変化の必要十分条件に含まれるものを1つ選べ。

- ① セラピストは、セラピスト自身の内的照合枠を理解している。
- ② セラピストとクライアントが、相互に共感的に理解し合っている。
- ③ セラピストは、クライアントとの関係の中で不一致の状態にある。
- ④ セラピストは、クライアントに対して無条件の肯定的配慮を経験している。
- ⑤ セラピストは、クライアントと自分をできる限り同一視し、その経験をクライアントに伝えようとしている。

問22 自らの感情を認知したり表現したりすることが乏しく、想像力に欠ける状態を意味する用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① アパシー
- ② アメンチア
- ③ カタレプシー
- ④ ディスレクシア
- ⑤ アレキシサイミア

問23 QOL を測定する包括的尺度として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① GHQ
- ② K6/K10
- ③ MAS
- ④ PIL
- ⑤ SF-36

問24 1日の大半を家の中で過ごし、外出頻度は週1回未満である高齢者の状態として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 見当識障害
- ② 閉じこもり
- ③ 要介護状態
- ④ 老年的超越
- ⑤ 遂行機能障害

問25 R. Rosenthal が示した、教師が持つ学習者に対する期待によって、結果的に当該学習者の成績が向上するとされる現象を説明する用語として、適切なものを1つ選べ。

- ① ハロー効果
- ② フリン効果
- ③ ストループ効果
- ④ ピグマリオン効果
- ⑤ フレーミング効果

問26 DSM-5 の神経発達症群／神経発達障害群のうち、細部に注意がいき過ぎて全体を捉えられない中枢性統合の弱さのために、固執傾向や文脈の読みとりにくさなどがある病態として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① トウレット症／トウレット障害
- ② 注意欠如多動症／注意欠如多動性障害
- ③ 発達性協調運動症／発達性協調運動障害
- ④ 自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害
- ⑤ コミュニケーション症／コミュニケーション障害

問27 ある教育活動の開始前に実施し、学習の前提となるレディネスが形成されているかどうかを事前に把握、判断し、その情報を教育的な決定に活用するための評価法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 形成的評価
- ② 個人内評価
- ③ 診断的評価
- ④ 総括的評価
- ⑤ 到達度評価

問28 老廃物の排出や体液量の調整、酸塩基平衡の維持などに関わる臓器として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 胃
- ② 肺
- ③ 肝臓
- ④ 結腸
- ⑤ 腎臓

問29 止血に関わる血液中の成分として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 単球
- ② 血小板
- ③ 好中球
- ④ 赤血球
- ⑤ リンパ球

問30 HbA1c が管理の指標に用いられる疾患として、適切なものを1つ選べ。

- ① 糖尿病
- ② 気管支喘息
- ③ 脂質異常症
- ④ 慢性心不全
- ⑤ 関節リウマチ

問31 摂食障害患者の症状評価のために用いられる心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① CES-D
- ② EDI-2
- ③ EPDS
- ④ STAI
- ⑤ TAS-20

問32 副作用として、不随意的で継続的な筋収縮による異常姿勢、頸部や躯幹の捻転、舌の突出、眼球上転などが起こる薬剤として、最も注意すべきものを1つ選べ。

- ① 睡眠薬
- ② 抗不安薬
- ③ 気分安定薬
- ④ 抗精神病薬
- ⑤ 抗認知症薬

問33 民法上の規定に基づき、絶対的扶養義務者に該当するものを1つ選べ。

- ① 祖父母
- ② 子の配偶者
- ③ 配偶者の父母
- ④ 父母の兄弟姉妹
- ⑤ 兄弟姉妹の配偶者

問34 最新の研究知見を臨床実践に適用できる専門家を育成すべく、1949年のボールドー会議において示された心理職のモデルとして、正しいものを1つ選べ。

- ① 臨床科学者モデル
- ② 生物心理社会モデル
- ③ 反省的实践家モデル
- ④ 科学者－実践家モデル
- ⑤ 実践家－研究者モデル

問35 高齢者支援における公認心理師の業務として、不適切なものを1つ 選べ。

- ① BPSD のアセスメント
- ② GDS によるアセスメント
- ③ パーソンセンタード・ケアの実践
- ④ リアリティ・オリエンテーションの実施
- ⑤ ケアプラン(介護サービス計画書)の作成

問36 発達障害者支援法で規定されている発達障害の名称に該当しないものを1つ選べ。

- ① 自閉症
- ② 学習障害
- ③ 社会的行動障害
- ④ アスペルガー症候群
- ⑤ 注意欠陥多動性障害

問37 子どもの心理的アセスメントにおける人物画の表現の取扱いについて、不適切なものを1つ選べ。

- ① 知的発達の評価に用いる。
- ② 省略された物や部分について検討する。
- ③ 描かれたものについて実施後に話題にする。
- ④ 対人関係やパーソナリティの理解に活用する。
- ⑤ 描画内容が示唆するものを一義的に解釈する。

問38 パーソンセンタード・アプローチにおいて、セラピストの傾聴を理論的に説明するために用いられる概念として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 純粹性
- ② 体験過程
- ③ 深い関係性
- ④ フェルトセンス
- ⑤ パーソナル・コンストラクト

問39 フォスタリング機関(里親養育包括支援機関)が行うべき業務として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 里親に対する研修
- ② 里親制度の普及啓発
- ③ 里親のアセスメント
- ④ 子どもと里親家庭のマッチング
- ⑤ 里親家庭への子どもの委託措置

問40 母子生活支援施設について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 母子を保護し、自立の促進に向けた取り組みを行う。
- ② 入所に至る経緯は、児童相談所による措置が大半を占める。
- ③ DV等の被害者を一時保護する委託施設としての役割がある。
- ④ 母子で一緒に暮らすことのできる唯一の児童福祉施設である。
- ⑤ 離婚が未成立であっても、実質的に母子家庭であれば利用可能である。

問41 刑事施設における性犯罪再犯防止指導の内容として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 認知行動療法を基礎としている。
- ② グループワークを中心としている。
- ③ プログラムの効果検証が行われている。
- ④ 対象者の再犯リスクの高低を問わず、同一プログラムを受講させる。
- ⑤ 対象者が社会復帰する前には、メンテナンスプログラムを受講させる。

問42 C. Saunders が提唱したトータル・ペインの4つの側面に含まれないものを1つ選べ。

- ① 霊的〈spiritual〉
- ② 精神的〈mental〉
- ③ 社会的〈societal〉
- ④ 身体的〈physical〉
- ⑤ 共感的〈empathic〉

問43 職業倫理に配慮した公認心理師の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 事例検討会の発表資料に記載するクライアントの居住地の情報を、市町村名のみとした。
- ② 中学生のクライアントに心理検査を行う際、保護者のみに検査結果の取扱いについて説明をした。
- ③ クライアントが自殺を遂行する決意と手段を面接で語り秘密を守るよう懇願した際、誰にも伝えなかった。
- ④ 面接で知り得た情報を専門職間で共有する際、誰にどの範囲の情報を伝えてよいかクライアントに確認した。

問44 N. Tinbergen による、動物の行動の原理を理解するための4つの観点のうち、「生存・生殖にどのように寄与しているか」に該当するものを1つ選べ。

- ① 適応(究極要因)
- ② 個体発生(発達要因)
- ③ メカニズム(至近要因)
- ④ 系統発生(系統進化要因)

問45 クライエントに、何らかの意味を含んだ身体感覚に注意を向けさせて、自己への気づきを促すアプローチとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 系統的脱感作法
- ② フォーカシング
- ③ ゲシュタルト療法
- ④ ストレス免疫訓練

問46 小・中学校学習指導要領(平成29年改訂、文部科学省)で新たに示された、授業改善によって実現が望まれる児童や生徒の学びとして、適切なものを1つ選べ。

- ① 主体的・対話的で深い学び
- ② 社会生活への適応を目指した学び
- ③ 基礎・基本を確実に身に付ける学び
- ④ ゆとりある充実した学校生活を実現しようとする学び

問47 特別支援教育に関する内容として、適切なものを1つ選べ。

- ① 就学相談では、保護者の意見聴取をすることになっている。
- ② 就学相談の判定結果による就学先は、通常学級又は特別支援学級のいずれかである。
- ③ 特別支援教育を受ける児童生徒数の割合は、2021年までの10年間で減少し続けている。
- ④ 通級による指導は、多くの教科教育を通常の学級で受けながら、一部の授業を学校以外の外部関係機関で行うものである。

問48 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律〈教育機会確保法〉の記載に該当するものを1つ選べ。

- ① 不登校児童生徒が安心して教育を十分に受けられるよう、学校における環境の整備が図られるようにすること
- ② 能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講ずるようにすること
- ③ 障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講ずるようにすること
- ④ すべての国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない、教育上差別されないようにすること

問49 DSM-5 の神経発達症群／神経発達障害群における、言語症／言語障害の特徴として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 使用できる語彙が少ない。
- ② 構文能力が限定されている。
- ③ 話法における障害が認められる。
- ④ 発症時期は乳幼児期から成人期まで幅広い。

問50 特別支援教育コーディネーターについて、不適切なものを1つ選べ。

- ① 保護者の相談窓口になる。
- ② 教育委員会によって指名される。
- ③ 校外の関係機関との連絡調整を行う。
- ④ 発達障害の知識を深めるための校内研修を企画・実施する。

問51 いじめ防止対策推進法の内容として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 児童等は、いじめを行ってはならないとされている。
- ② いじめ被害者・加害者が通う「学校」には、幼稚部を除く特別支援学校が含まれる。
- ③ 私立学校は、いじめ重大事態が発生したときは、都道府県教育委員会に報告しなければならない。
- ④ 保護者は、児童等がいじめを行わないよう、児童等に対し規範意識を養う指導を行う努めがある。

問52 E. Rodolfa らが提唱した心理職の機能的コンピテンシーに該当するものを2つ選べ。

- ① 多職種協働
- ② スーパービジョン
- ③ 心理的アセスメント
- ④ 文化的ダイバーシティ
- ⑤ 倫理的・法的基準と政策

問53 生涯発達における、遺伝と環境及びそれらの交絡による影響を検討する上で用いられる研究手法として、適切なものを2つ選べ。

- ① 環境評価
- ② 双生児法
- ③ 脳機能計測
- ④ 養子研究法
- ⑤ DNA 型鑑定法

問54 ナラティブ・セラピーにおけるセラピストのコミュニケーションの特徴として、適切なものを2つ選べ。

- ① クライアントへの質問を控える。
- ② クライアントの問題の外在化を図る。
- ③ 「無知の姿勢」でクライアントに向き合う。
- ④ 社会的通説で用いられる言語表現を意識して用いる。
- ⑤ クライアントのドミナント・ストーリーの構築を促進する。

問55 少年事件の調査における家庭裁判所調査官の業務に該当するものを
2つ選べ。

- ① 心身鑑別
- ② 処分の決定
- ③ 非行原因の把握
- ④ 非行事実の認定
- ⑤ 保護者に対する措置

問56 改訂心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き
(令和2年、厚生労働省)に基づく対応として、適切なものを2つ選べ。

- ① 産業医の意見に基づいて、主治医が最終的な職場復帰の決定を行う。
- ② 事業者と主治医との連携は、正式な職場復帰が開始された時点で終結する。
- ③ 主治医及び通院先の医療スタッフが中心となって、職場復帰プランを作成する。
- ④ 産業医は、主治医による職場復帰可能の判断と職場で求められる業務遂行能力の内容について精査する。
- ⑤ 事業場内産業保健スタッフは、病気休業の開始に当たって、事業場外の職場復帰支援サービスに関する情報を提供する。

問57 緩和ケアで用いられるモルヒネの三大副作用に該当するものを2つ選べ。

- ① 悪心
- ② 眠気
- ③ 頻尿
- ④ 過換気
- ⑤ 高血圧

問58 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律〈高齢者虐待防止法〉の内容として、適切なものを2つ選べ。

- ① 家族が立ち入り調査を拒んだことに対する罰則規定はない。
- ② 家庭内虐待における通報先には地域包括支援センターが含まれる。
- ③ 市町村において虐待が認定された場合、行政担当者は警察に報告する義務がある。
- ④ 養護者による虐待の事実を確認しなくても、疑いの段階で通報することができる。
- ⑤ 養介護施設職員が、施設において、介護業務に従事する職員による高齢者虐待を発見した場合、通報の努力義務がある。

問59 理科が好きな程度を国及び学年の間で比較するため、3つの国の小学4年生及び中学2年生それぞれ200名ずつに、理科が好きな程度を、「まったく好きでない」から「とても好き」の5段階で評定してもらう調査を実施した。各群における理科が好きな程度の度数分布を確認したところ、連続量として扱うことに問題はなかったため、量的な変数として分析に用いることにした。

このデータを分散分析で分析する場合の独立変数の設定として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 国と学年の2被験者間要因
- ② 国と学年を組み合わせた1被験者間要因
- ③ 国と学年と理科が好きな程度の3被験者間要因
- ④ 国と学年と理科が好きな程度を組み合わせた1被験者間要因
- ⑤ 国と学年の組み合わせと理科が好きな程度の2被験者間要因

問60 1歳5か月の男児A、初語10か月、初歩11か月。これまでの乳幼児健診では特に発達の問題を指摘されたことはなく、活発で積極的なタイプの子どもである。母親Bによると、Aはこれまであまり手がかからなかったが、最近になって、散歩中に手を繋ぐことを拒否して大声で泣き喚いたり、急に抱っこをせがんできたりと、とても手がかかるようになった。また、Bが一人で外出しようとするとき泣いて嫌がるようになり、父親に任せて外出することができなくなってしまった。

Aの発達状況を、M. S. Mahler の理論を通して理解した場合に、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 分化期
- ② 練習期
- ③ 再接近期
- ④ 正常な共生期
- ⑤ 正常な自閉期

問61 8歳の男児A、小学2年生。Aは、「先生の話が分からない」、「学校が嫌い」と話し、授業中に他児に話しかけることや、立ち歩きも多かった。心配した保護者と担任教師はスクールカウンセラーBに相談し、Bの紹介で、Aは教育相談センターで心理検査を受けることになった。教育相談センターに勤務する公認心理師Cは、Bから、「検査の結果は、今後の学校におけるAの支援に役立てたい」という申し送りを受け、AにWISC-Vを実施した。

Cが実施するアセスメント・フィードバックとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① アセスメントの結果は、まず紹介元であるBに送付する。
- ② 年齢を考慮し、A自身へのアセスメント・フィードバックは避ける。
- ③ アセスメント・フィードバックの内容は、伝える相手によって変えず、同一にする。
- ④ 下位検査得点や行動観察も含めた結果を基に、アセスメント・フィードバックを行う。
- ⑤ 保護者にアセスメント・フィードバックを行う際は、Aの検査記録用紙の複写を資料として付ける。

問62 64歳の男性A、会社員。1年半前に長年連れ添った妻Bを、がん
で亡くした。葬儀などが一通り終わった頃から、Bを失ったことが受
け入れられず、深い悲しみに襲われ、Bの遺品の整理に手が付けられ
ず、仕事にも集中しにくい状態が続いていた。Bが亡くなって半年が過
ぎた頃からは、深い悲しみは和らいできたものの、何事にも無気力に
なっていた。ここ2か月くらいは、徐々に気分が落ち着いてきて、一人
で取り組める新たな趣味をみつけ、仕事も生活も回るようになってきて
いる。

J. Bowlby が提唱した喪の作業の4段階のうち、現在のAの状態に該
当するものを1つ選べ。

- ① 再建
- ② 受容
- ③ 無感覚
- ④ 混乱と絶望
- ⑤ 思慕と探索

問63 30歳の男性A、会社員。喫煙をやめたいが、なかなかやめられないため、会社の健康管理室を訪れ、公認心理師に相談した。Aは、以前禁煙外来に通院したこともあるが、仕事の繁忙期に、ストレス発散のためにまた喫煙し始めてしまったという。健康を心配したパートナーにも強く禁煙を勧められ、今月中に禁煙外来を再度受診しようと思っているものの、今回もまた失敗するのではないかと恐れている。

J. O. Prochaska らの多理論統合モデル〈Transtheoretical Model〉では、Aはどのステージにあるか。最も適切なものを1つ選べ。

- ① 維持期
- ② 実行期
- ③ 準備期
- ④ 関心期(熟考期)
- ⑤ 前関心期(前熟考期)

問64 48歳の男性A、会社役員。昼間の強い眠気と倦怠感、集中力の低下などを訴え、精神科クリニックを受診した。Aは、40歳を過ぎてから徐々に体重が増加し、現在のBMIは30である。また、高血圧症の診断の下、内科クリニックで薬物療法を受けている。毎日6時間程度の睡眠時間を確保しており、寝付きは良いが、夜間に頻繁に目が覚める。起床時には、頭痛がひどく、熟眠感に乏しい。いびきがうるさいとのことで、数年前から妻は別の部屋で寝ている。最近では、重要な会議でも居眠りをすることが多くなり、部下からそのことを指摘されることも気になっている。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 睡眠時随伴症
- ② ナルコレプシー
- ③ むずむず脚症候群
- ④ 睡眠時無呼吸症候群
- ⑤ 概日リズム睡眠・覚醒障害

問65 22歳の男性A、大学4年生。普段と様子が違うことを心配した両親に連れられて、精神科クリニックを受診した。両親によると、Aは、1か月前からいらいらして怒りっぽくなり、夜もほとんど寝ていないという。Aに理由を聞くと、自分の卒業研究の進め方をめぐって指導教員としばしば口論になり、大変であるという。一方で、自分の研究はノーベル賞級の素晴らしいものであると胸を張って力説したり、趣味のバイクの自慢をしたり、SNSで自分のバイクのことが絶賛されたと得意げに話したりする。多弁で、話題を変えて話し続ける。先月はバイクの改造にかなりお金を使ったという。薬物の乱用歴はない。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 統合失調症
- ② 双極Ⅰ型障害
- ③ 双極Ⅱ型障害
- ④ 気分循環性障害
- ⑤ 注意欠如多動症／注意欠如多動性障害

問66 29歳の女性A、学校教員。両親に連れられて総合病院精神科を受診した。同居の両親によると、Aは、1週間前の夜、長年交際してきた同僚の男性Bから別れを告げられた。翌朝、険しい表情でリビングに現れたAは、なぐさめる両親に対して激しく興奮し、その日から仕事を休んでいる。自宅では、「Bの声が聞こえる」と言って騒いだり、「Bが迎えに来た」と言って誰もいない玄関に飛び出したり、落ち着かない状態が続いた。外来でもAは、「診察室に生徒がいる」と言って混乱した様子を見せた。入院治療となり、2週間程度でこれらの症状は消失した。その後は安定した状態が続いている。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 統合失調症
- ② パニック症
- ③ 妄想性障害
- ④ 短期精神病性障害
- ⑤ 心的外傷後ストレス障害

問67 63歳の女性A、嘱託職員。軽度の脳梗塞の既往歴はあるが、麻痺などの後遺症はない。物忘れが最近気になるとのことで、夫Bに伴われて精神科クリニックを受診した。同じ職場で働くBによると、Aは、半年前、昼食中に吐き気を訴えた後、一点を見つめ、呼びかけに答えなくなった。1分程で呼びかけに答えるようになったが、ぼんやりとした状態は夕方まで続いた。翌日、Aはこのことを覚えていなかった。以来、職場への道順や、料理の手順が分からなくなることがある。また、口を急にもぐもぐさせたり、ぼんやりしたりすることもある。その一方で、仕事に支障はなく、現在も続けられている。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① うつ病
- ② せん妄
- ③ てんかん
- ④ Lewy 小体型認知症
- ⑤ Alzheimer 型認知症

問68 14歳の男子A、中学2年生。Aは1年前から、児童相談所の措置により、ある施設に入所している。Aは、幼少時から親による暴力を受け、中学生になると、非行集団と遊行し、万引きや恐喝、学校での対人暴力をしばしば行った。入所後は、施設内のある小舎で複数の子どもたちと一緒に生活している。小舎では、実夫婦が職員として子どもたちと寝起きを共にしている。開放処遇であり、施設の敷地内にある学校に通学する。Aは当初職員に反抗的であったが、最近は職員の手作りの食事や畑での農作業を好んでおり、年少児の世話をしたり、職員に甘えたりする場面も増えてきている。

Aの入所している施設として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 少年鑑別所
- ② 第1種少年院
- ③ 自立援助ホーム
- ④ 児童自立支援施設
- ⑤ 児童心理治療施設

問69 5歳の女兒A、一時保護所に入所中。Aの両親が事故に遭い入院となった。Aは幼稚園にいて無事であったが、養育者が不在となり、Aは一時保護所に入所した。当初、Aは慣れない様子で不安気であったが、次第に職員に懐き、「パパとママが退院するまで、ここで待っているの」と現状を理解していた。しかし、あるとき、「私がママの言いつけを聞かなかったから、ママは怪我したの。あの日、ママが早くお着替えしなさいと言ったのに私は遊んでいたから」と語った。

このようなAの語りの背景にある幼児期特有の心理的特徴として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 差次感受性
- ② 自己中心性
- ③ 社会的参照
- ④ 対象の永続性
- ⑤ 一人でいられる能力

問70 67歳の男性A、刑事施設に入所中。Aは、軽度の知的障害があることが分かっている。若い頃から窃盗を繰り返しており、最近も執行猶予中にもかかわらず、スーパーマーケットから食料品等を万引きし、その結果、懲役1年の刑に処された。家族や親族はAの受け入れを拒否しており、Aの社会的自立は困難と予想されている。

このような場合、今後、Aが出所して社会生活に戻る際に、刑事施設が特別調整の中で優先的に連携する機関として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 福祉事務所
- ② ハローワーク
- ③ 精神保健福祉センター
- ④ 就労継続支援A型事業所
- ⑤ 地域生活定着支援センター

問71 14歳の男子A、中学2年生。Aは、1か月前から登校していない。Aの担任教師によると、Aから、「今まで言わなかったけれども、実は、所属する部活動の仲間からずっと暴力を受けてきた」と訴えがあったという。また、Aの保護者によれば、Aはショックで精神的に不安定になり、卒業まで学校に行きたくないと言っているという。Aが校内でいじめられた疑いがあることについて、スクールカウンセラーを含む校内委員会が組織された。

校内委員会が進めることとして、不適切なものを1つ選べ。

- ① AとAの保護者に調査の経過報告を適宜行う。
- ② Aの学習の機会を保障するように支援を行う。
- ③ 必要に応じてAを医療機関につなげる支援を行う。
- ④ 加害が疑われる生徒への聞き取りを優先的に実施する。
- ⑤ 学校・教職員の対応に関する情報を可能な限り網羅的に収集する。

問72 10歳の女兒A、小学4年生。Aは、母親が他界したため、父親と二人暮らしである。ある日、Aの担任教師が、Aの腕と足にあざがあるのを見つけてAに尋ねると、Aは、「家に帰りたくない」と泣き出し、「お父さんに身体を触られて、やめてと言ったら殴られた。いつも殴られる」と話した。学校は虐待の疑いがあると判断して、児童相談所に通告し、児童相談所はAを一時保護した。児童相談所は警察、検察と協議して、Aに対して、3機関で協同面接を実施することとした。

面接者が面接の過程で行うAへの対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 「質問の答えを知らなければ、知らないと言ってください」と面接のルールを伝える。
- ② 本題と関係ない最近の身近な出来事を、思い出して話す練習をさせる。
- ③ 本題について、自由報告を求める。
- ④ 途中で面接者を交代して、補充質問をする。
- ⑤ 終了前に、他に話しておきたいことはないか尋ねる。

問73 23歳の男性A、小学3年生の担任教師。Aは、担任する学級の男児BについてスクールカウンセラーCに相談した。Aによると、Bはゲームが得意で、Aや他児と休み時間にゲームの話をすることが好きである。しかし、最近では、ゲームに登場するキャラクターの話を他児の様子も気にせず一方的に話し続け、他児はBとの関わりを拒否するようになってきている。また、Bは自分の思い通りにならない場面で、怒って授業中に教室外へ飛び出すことがよくあるという。Cは、Aの授業を観察後、AにBの支援に関する校内委員会での検討を勧めるとともに、Bや学級への具体的な支援について助言を行った。

CのAへの助言内容として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① Bを除く学級全体で怒りの対処について話し合う。
- ② Bが教室外に出ようとしたときにその都度強く注意する。
- ③ ゲームのキャラクターのことについて学級で話をしないようにBに注意する。
- ④ 教室を飛び出したくなった際の対処の仕方やルールについて、Bと個別に話し合う。

問74 80歳の女性A、自宅で一人暮らし。Aは、Alzheimer型認知症と診断されている。先日、Aの日常生活の世話をしていた夫Bが、急性心筋梗塞で亡くなった。このことを受け、Aを担当する居宅介護支援事業所のケアマネージャーCから、地域包括支援センターに連携の依頼があった。Cによると、Aは、3年前に要介護認定を受け、訪問看護とデイサービスの利用を開始した。その後も、Aの認知機能は徐々に低下し、1年前には、一人で買い物や金銭の管理をすることが困難な状態になった。最近は、食事や服の着替えについてもBの介助が必要であった。Bが亡くなった現在、Aに存命の親族はいない。

この時点で、地域包括支援センターのAへの支援として、適切なものを2つ選べ。

- ① 自立支援医療の申請
- ② 後見開始の審判の申立て
- ③ 地域ケア個別会議の開催
- ④ 介護予防サービス計画の作成
- ⑤ 認知症初期集中支援チームとの連携

問75 25歳の男性A、対人援助職。Aは、心身の不調により医療機関を受診し、公認心理師が面接をした。Aによると、入職した3年前は、やる気に満ち、支援対象である子どもと関わるのが楽しみで、やりがいも感じていた。しかし、1年前から、担当児童数が急激に増え、責任ある仕事を任されることも多くなり、最近では、仕事に行きたくないという気持ちが毎日続いている。何とか職場に行っても、共感的に子どもと関わるのが難しく、個々のニーズに対応することを面倒に感じ、書類の整理などの事務的な作業をして、子どもとの関わりを避けることも多くなったという。

Aの状態に関係が深い症状として、適切なものを2つ選べ。

- ① 脱人格化
- ② 現実感消失
- ③ 情緒的消耗
- ④ 複雑性悲嘆
- ⑤ 空の巣症候群

問76 24歳の男性A、中学2年生の担任教師。Aは、担任するクラスの生徒Bについて、スクールカウンセラーCに相談した。Aによると、Bは新年度当初から孤立傾向があり、時折元気がない様子もみられた。その一方、Bは授業を休まず、学校生活に適応しようと努力していた。AもBを励ましつつ様子を見てきた。しかし、先週、養護教諭がBの腕かみの痕跡を見つけ、即座にBから話を聞き対応した。その対応でBは落ち着き、少し元気を取り戻した。Aは自傷行為をする生徒を指導することが初めてで、今後どのようにBと関わっていけばよいか悩んでいる。

CのAへのコンサルテーションにおいて、最初に含めるべき内容として、適切なものを2つ選べ。

- ① 自傷行為の基本的な理解の仕方を説明する。
- ② クラス集団作りのための心理教育プログラムの実施を提案する。
- ③ 自傷行為をしない約束を取りつけるよう、Bとよく話し合ってもらおう。
- ④ AからBに、学校生活に適応するため、引き続き努力するように伝えてもらう。
- ⑤ Aと養護教諭の話をもとに、Bの心理状態や自傷行為に関するアセスメントをしながら、Bの置かれている状況を共有する。

問77 33歳の女性A、会社員。夫Bと二人暮らし。Aは、最近3か月の間に仕事上のミスが多発したため、Aの上司から社内の心理相談室を紹介され、公認心理師Cが面接を行った。Aとの面接中、CはAの二の腕に内出血の痕跡があることに気が付いたため、Aに確認を行った。Aによると、Bは飲酒して帰宅した際に機嫌が悪いとAを激しく殴ることがある。その傾向は3か月前から酷くなり、Aは、Bのことを考えて仕事に集中できないことがある。今回もBに腕を強くつかまれたという。AはBを恐れており、「ここで話したことは絶対にBに言わないでほしい」と言う。

現時点におけるCの対応として、適切なものを2つ選べ。

- ① Aに仕事のミスを減らす方法を助言する。
- ② AがBに暴力をやめるように伝える方法を一緒に考える。
- ③ Aからの話であることは伝えずに、Bに事情や考えを確認する。
- ④ Aに対して、暴力や支配を受けていることへの気づきを積極的に促す。
- ⑤ Aと、警察や行政に援助を依頼することや通報することについて話し合う。

